

地域の見どころ再発見！

地方創生と

わたしたち

昨年、民間の研究機関「日本創生会議」が

「自治体消滅の危機」を発表しました。

少子高齢化と人口減少がこのまま続けば

地方では「仕事」がなくなり

若者の東京への流出が加速。

その結果、30年後には20代、30代の女性が半減。

機能維持が困難になる「消滅の恐れがある自治体」が

896にも上るとい内容で

その危機感は多くの人に共有されました。



P20

セブン オーシャンズ
トレーディング株式会社
代表取締役
山下 浩幸氏



P19

株式会社 永山本家酒造場
代表取締役社長
五代目 蔵元兼社氏
永山 貴博氏



P18

株式会社 澄川酒造場
代表取締役社長
澄川 宜史氏

そこで政府は「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ
さまざまな施策を打ち出しました。

その中のひとつが「地域の特性の尊重」の促進です。
今、日本中のすべての地方が

わがまちの宝もの探し、宝もの磨きに注目しています。

〓待っていてもはじまらない。

〓このままではふるさどがなくなる。

誰かがやらねばならないのなら、

私が、やろう。

これから紹介するのは

その「私が、やろう」と立ち上がった

まちのキーマンです。

新しい地域の宝ものを探し、磨き、育てる人。

古人から受け継いだ生業を、組み替えなおす人。

一人ひとりの想いが大きく広がり、

地域がともに手をつなぎ、

地域とともに成長する。

その日々の活動をご紹介します。

参考：日本創生会議「オフィシャルサイト」
「地方消滅―東京―極集中が招く人口急減―増田寛也（著）中公新書」/他



P22-23

株式会社 北九州家守舎
代表取締役
嶋田 洋平氏
(らいおん建築事務所
代表取締役)



P21

株式会社 晃祐堂
化粧筆工房
取締役社長
土屋 武美氏



P20

Pâtisserie Cent Neuf
オーナーシェフ
土久岡 朋則氏

【地方創生】

日本酒

- 株式会社 澄川酒造場
- 株式会社 永山本家酒造場

平成25年7月末、山口・島根を襲った未曾有の集中豪雨で甚大な被害を受けた澄川酒造場。澄川宜史たかふみ社長は、当時をこう振り返ります。「とにかく逃げ出したい。そんな気持ちでした。しかしこの状況を知った方々が一斉に手を差し伸べてくださり、同じく被災した地元の方も『宜ちゃん、上撰はまだかいね』と。とにかく前へ進まねばと頭を切り替え、思い切った設備投資を行い、

取材も片っ端から受けました。と言うのも、酒蔵は話題にしていたくださいます。当社がメディアに出ることで、元の惨状を伝えることができばと思っただけです。そして災害からわずか4カ月後、同年12月に発売した新酒「東洋美人 原点」は瞬く間に完売しました。「その購入先を見ると、ほぼ県内だったんです。実は20年ほど前、当社は県内での市場からはじき出されて、やむなく県外に活路を求めざるを得

なかったのですが、この結果を見て、地元の方にいかに支えられているかを実感しました。現在は県外への出荷量を制限。山口の方々にまず楽しんでいただきたいと思っています。その後、2014年には、日本一美味しい市販酒が集まるきき酒イベント「SAKE COMPETITION」のFree Style Under 5000部門で1位に輝いた澄川酒造場。災害から2年、マイナスからゼロ、ゼロから1へ。現在も着実に、歩みを進めています。

山口で愛される”地酒”へ



1:「東洋美人 ippo 酒未来」(350ml 540円(税込)、一升瓶3,240円(税込))「東洋美人」純米大吟醸 壺番纏(720ml 3,780円(税込)) 2: しっかりとした知識と経験を活かしながら、機械化にも前向きに取り組む 3:「ロマンを語ってもらえるような酒を造りたい」と澄川さん

株式会社 澄川酒造場

(山口県萩市)



家業を守る、従業員を守る。そのためにも今はただ、この瞬間を一生懸命に生きたい。

代表取締役社長 澄川 宜史 氏

Company profile

株式会社 澄川酒造場

- 【創業】大正10年
- 【住所】山口県萩市大字中小川611
- 【問合せ先】☎08387-4-0001



山口の日本酒造り

山口県内には24の蔵元があり（山口県酒造組合加盟）、県内全土に渡って酒造りが盛んに行われています。ベテラン・若手が手を取り合い、その腕を磨き合いながら山口ならではの酒造りに取り組んでいます。県を代表する名産品として成長を続ける日本酒のこれからを、2人の蔵元に伺いました。

株式会社 永山本家酒造場

（山口県宇部市）



1:「貴」純米吟醸山田錦（一升瓶3,780円（税込）、720ml 1,890円（税込））2:歴史を感じさせてくれる蔵や煙突、事務所は文化財登録を検討中 3:「ここでしか取れない水、米で酒を造り続けたい」と永山さん

世界に羽ばたく日本酒造りを

山陽道の宿場町・宇部市大字車地で、明治時代から酒造りを続けている永山本家酒造場。敷地の目の前には、美祢市から周防灘へと注ぐ厚東川が流れています。「日本の水は多くが軟水ですが、このあたりは秋吉台水系で、酵母菌の発酵を促すカルシウムを多く含む中硬水。また周辺には古くから酒米の『雄町』を手がける農家もあり、酒造りには非常に向いた土地なん

です」。取材に応じてくれた五代目蔵元の永山貴博さんは39歳。35歳で山口県酒造組合青年部の会長も務めた若手リーダーのひとりです。15年前からは、「ワインの素材であるぶどうを自社で手がける」ドレーヌのように、当社も自社で酒米を手がけていきたい」と、「山田錦」の自社栽培をスタート。このようなグローバルな考えで生まれた代表銘柄「貴」は、和・洋ど

ちらの食事にも合い、シンガポールでも評価を受けるなど、長年の夢であった「世界に愛される日本酒造り」にさらなる磨きをかけています。「いいお酒を造ることによって、山口の水田、自然豊かな風景を守ってあげたい」と思っています。また年に数回、地元の小生らが酒蔵見学に来てくれますが、彼らに「酒造りってカッコいい」「どんな場所からでも、世界に羽ばたく」と思われる存在になれたら嬉しいですね。

Think Globally, Act Locally

（世界を見据え、地に根ざし個を磨く）
代表取締役社長／五代目 蔵元兼社氏
永山 貴博 氏

Company profile

株式会社 永山本家酒造場
【創業】明治21年
【住所】山口県宇部市大字車地138
【問合せ先】☎0836-62-0088



【地方創生】

- セブン オーシャンズ
トレーディングス株式会社
- パティスリー ソンヌフ
- 株式会社晃祐堂

レモン



広島

セブン オーシャンズ

トレーディングス株式会社

(広島県広島市)

特長を記載して全国にPR



「広島レモン果実水マスク」(3枚入1,296円(税込))は香料不使用、天然のフレッシュな香りが漂う



〈パッケージ裏面〉

「長年、化粧品輸入業を行ってきましたが、特産品を使ったコスメを自社製作したいとずっと考えていました」と、代表取締役の山下浩幸さん。3年前に発売した「広島レモン果実水マスク」は、広島県産レモンの果実蒸留水が主成分です。特徴的なのはそのパッケージ。裏面に『広島レモン』についての記事を掲載することで、PRするツールとしての役割も担っています。「実際にこのマスクがブログなどで紹介される際には、必ずといっていいほど『広島レモン』の概要についても触れていただいています」。コスメを買った人から贈られた人へ、ネットを通じて全国各地へとその魅力は広がっています。

パティスリー

ソンヌフ

(広島県東広島市)

店の垣根超えてアピールを



「カトル・カール」(カット1個184円(税込)・箱(カット8個入)1,685円(税込))。広島県産レモンのやさしい酸味が引き立つ一品

関西のホテルや有名洋菓子店で、16年の修業を重ねた後、生まれ育った八本松町に約4年前店を構えた土久岡朋則さん。看板商品のひとつとして考案したのが、広島県産レモンを使ったケーキ「カトル・カール」です。広島でレモンケーキといえば丸い形状が一般的ですが、しっとりとした口溶けと美味しさを追求したら、火が柔らかく通り、水分を閉じ込めやすいパウンド型にたどり着いたそうです。「広島にはたくさん美味しいものがあります。いろんな銘菓を楽しめるセットを作るなど、他店の方とも協力してアピールできたら面白いですよ。今後は、店舗の垣根を超えた商品開発にも期待が高まります。」

広島 レモンとは

国産レモンの約65%を担う、レモン生産量日本一の広島県。明治時代、和歌山県から広島県豊田郡大長村（現呉市豊町大長）へと伝わったのが始まりとされています。現在、県内産レモンを地方創生につなげようとする地元の取組みが活発化し、さまざまな商品が誕生しています。今回は、そんな中から3つの商品に注目し、取組みや今後の展望を伺いました。

参考：広島県ホームページ

斬新なアイデアで認知を広める

”熊野化粧品”といえば必ず名前が挙がる晃祐堂。実は、江戸時代から続く熊野筆の中では、比較的若いメーカーです。化粧品への参入も後発でしたので、まずは多くの人に知ってもらうために、今までにない新しい商品を作ろうと考えました」と、取締役社長の土屋武美さん。色鮮やかで斬新なデザインを凝らすなど、さまざまな挑戦を続けるなか昨年12月に発売されたのが、「広島レモン」とコラボレーションしたチークブラシ。レモンの香り付きというアイデアがうけ、ギフト用を中心に人気広がっています。同じ広島から全国や海外へと発信しているアイテムとして、レモンと筆を知ってもらいたいきっかけになれば嬉しいですね。



「広島レモン熊野筆チークブラシ」(3,240円(税込))。ほんのり香るレモンエッセンスは、化粧品の香りと混ざらないよう、あえて開封後1、2日ほどで抜ける仕組み

株式会社晃祐堂

(広島県安芸郡)

・「広島レモン」は広島県果実農業協同組合連合会の登録商標です。



心想事成

(心に思ったことは必ず成し遂げる)
取締役社長 土屋 武美 氏

Company profile

株式会社晃祐堂 化粧筆工房
【創業】昭和53年
【住所】広島県安芸郡熊野町平谷4-4-7
【業種】毛筆製造・販売
【問合せ先】☎082-516-6418



今までの全ての
出会いに感謝を、
これからの出会いには謙虚に。

オーナーシェフ 土久岡 朋則 氏

Company profile

Pâtisserie Cent Neuf
【創業】平成23年
【住所】広島県東広島市八本松町飯田156-2
【業種】洋菓子店
【問合せ先】☎082-490-4316



広島の魅力
化粧品にのせて、
全国へ発信していきたい。

代表取締役 山下 浩幸 氏

Company profile

セブン オーシャンズ トレーディング株式会社
【創業】平成23年
【住所】広島県広島市中区鶴見町2-19-9F
【業種】化粧品販売
【問合せ先】☎082-545-7723

北九州が発信する
まちづくりとは

かつて107万人だった人口が、96万人にまで減少している北九州市。流出人口の大部分が、高所得層の重工業従事者であったことは、地元経済にも影を落としました。限界一の賑わいを誇った小倉・魚町銀天街でさえ、空き家や空きビルが増えていく現状に、「まちを元気にしよう!」と立ち上がったのが、「小倉家守構想」にはじまる民間主体のまちづくり運動です。「リノベーション」によって建物・エリアの価値を高め、新たな雇用を生み、人を集め、産業を振興してコミュニティの再生をめざす取り組みです。「北九州家守舎」代表取締役の嶋田洋平さんにお話を伺いました。

株式会社 北九州家守舎

エリア全体の 価値を高める

「人が来ないからシャッターを閉める。次々にシャッターが閉まるのを見て、買い物客も商売人も離れていく。こうなると、エリア全体の価値が下がり、投資活動が行われなくなる。この悪循環を断つには、建物単体ではなくエリア全体で考え、建物を使い続けることが大切です」と語る嶋田さんは、3年前、パートナー4人と一緒に、地域に眠る資源を有効活用するための実践型組織へ北九州家守舎を立ち上げました。小倉では、まず不動産のオーナーが提供した案件に対し、年齢も職業種も幅広い参加者で事業プランを考え、提案するリノベーションスクールを行っています。そこで生まれたアイデアを実現していくのです。新しい建物に人が集まるのは普通ですが、地元の人でさえ忘れていた建物の一部が美しく生まれ変わるのには心象のインパクトが違います。それまでエリアになかったコンテンツで、新しい人の動きを生むことも重要です。

補助金に頼らず 民間自立型で

事業プランを形にするには、資金調達や運営を担う組織が必要です。「初回は4人の出資金と、



@oclass(コクラス)

空き家アパートを再生したシェアハウス。住む人が自由に「DIY」も可能。



うおまちのにお三木屋

築60年の木造住宅をレンタルスペースへ再生。魚町の文化も伝える。



MIKAGE1881

雑居ビルで15年間空いていたフロアを、ワークスペースへ再生。

小倉家守構想

平成22年、「リノベーションまちづくり」提唱者の清水義次氏のプロデュースのもと策定。約半年間かけて議論された検討会には、まちの人々はもちろん、不動産オーナー、大学教授、行政の職員が参加。

家守(やもり)

江戸時代に活躍した民間の「町の差配人」。現代版家守は、まち全体の発展を見据えながら、「土地を有効活用したいが企画・投資に悩む」「不動産オーナーと、「何か始めたいが場所がなく家賃が高い」という人を結ぶ。

全国への広がり

さまざまな立場・年齢の人たちが集まり、自由に議論することで、次々とプロジェクトを生み出している「リノベーションスクール」(3〜4日間の合宿形式/半年に一度開催)。北九州市での開催が先駆けとなって全国に広がり、現在までに、和歌山、田辺、熱海、山形、鳥取、浜松、鹿屋で開催されています。「ポトムアップ型で、スピーディー」※な課題解決のしくみ「リノベーションの実践的な学びの場」としての可能性が注目を集め、年々、若い世代を中心に参加者が増加しています。

※事業プランの立案だけでなく、具現化でも強みを発揮。新築だと着工から完成まで3年はかかるころ、リノベーションでは半年〜1年で完成可能。



賛同いただいた地元オーナーからの出資金を全額投入しました。小さな実績を重ね、少しずつプロジェクトも大きくなるなかで、「この夏には、雑居ビルに『タンガテーブル』というゲストハウスを開く予定です。バックパッカーがターゲットで、地元食材のレストランも併設します。約6,000万円の資金調達は、新法人を設立して国の民間都市開発推進機構から金融支援を受けるスキームをつくり、北九州銀行にも協力いただきました。昨年の秋に計画が開始して、1年も経たずに完成予定。このスピード感も、リノベーションの強みですね。」

人のチカラも引き出していく

いろいろな人が挑戦できる場、雇用が広がっています。「家守舎をつくる前に、再生をお手伝いした「メルカート三番街」「ポポラート三番街」でも、シェアオフィスをつくったことで、フリーマーケットや自宅で活動していたクラフト作家などのクリエイターを発掘できました。今は、商売も小さく始めて育てる時代です。「裏通りや離れた場所を始め、次は表通りで場所を探す」という成長と新陳代謝のプロセスをつくれたら、まちは生き残れると思います。また、結婚・出産後、家庭に眠っている女性のチカラにも注目しています。家守舎では、主婦の方を採用して運営に関わっていただき、「どんな形や環境なら地域で働けるのか」を試みています。住む・働く・遊ぶが楽しいまちへ、これからも挑戦です。」



嶋田さんがまちづくりを志したきっかけがここに!

ほしい暮らしは自分でつくる
ぼくらのリノベーションまちづくり
(日経BP社発行)



タンガテーブル

平成27年夏オープン予定の「タンガテーブル」リノベーションの様子。



cucina di TORIYON

更地を活用したイタリア料理店・ワインバー。老若男女に人気。



地域に眠る資源を生かして、ふるさとのまちを未来へ受け継ぐ。

代表取締役 嶋田 洋平 氏
(らいおん建築事務所代表取締役)

Company profile

株式会社 北九州家守舎

【創業】平成24年
【住所】福岡県北九州市小倉北区魚町三丁目3番20号中屋ビル4F
【HP】<http://www.yamorisha.com/>

